

# 校長室の窓

富谷市立明石台小学校  
校長室だより NO.3  
令和4年6月2日(木)発行

## 「聴く」名人への道



5月18日にリモートで、そして6月1日には校庭で全校集まって朝会を行いました。シリーズで「聴く名人への道」と題し、どんなことに気を付けてお話を聞いたらよいか子供たちに伝えています。内容を一部抜粋してお知らせします。

### その1 聴く方に気持ちを向ける

音は誰にでも同じように聞こえるわけではありません。一人一人聞こえ方が違います。

人間の頭はとてもよくできていて、聞こうと思わない音は聞こえないようにすることができます。ですから、「聴く」名人になるには、聞こうとする言葉や音に気持ちを向けることが大切なのです。校長先生が10秒間お話をやめるので、静かに周りでどんな音が聞こえるか気持ちを向けて聞いてみましょう。どんな音が耳に入ってきましたか。教室の換気扇の音・友達の椅子の音・外の風の音や鳥の鳴き声など、それぞれに気持ちを向けた音が耳に入ってきたはずですが、さっきまでほとんど気にならなかった音が、気持ちを向けると初めて聞こえてくるって不思議ですね。

今日は「聴く」名人への道その1「聴く方に気持ちを向ける」というお話をしました。ぜひ、教室でお勉強をするときにも練習を続けてください。先生のお話や友達の話に気持ちを向けて聴くようにして「聴く」名人を目指していきましょう。そして、お友達が自分の話を聞いてくれなくて無視されたかもと感じた時にも、このお話を思い出してください。

### その2 聞いたことを覚えておく

聞いたことを覚えておく力には二つあって、一瞬だけ覚えておく力と長い間忘れずに覚えておく力があります。難しい言葉で「短期記憶」と「長期記憶」と言います。一瞬だけ覚えておく力は、実はかしくなるためにとっても大切な力です。これは練習をすると鍛えることができます。先生や友達が言ったことをそっくりそのまま間違えずに言うことができますか。これができる人は聞いて覚えることが得意な人です。走るのが速い人と遅い人がいるように、聞いたことを覚えておくのが得意な人も苦手な人もいます。得意になるコツは、この間お話した「聴く方に気持ちを向けること」と「心の中で一緒に言ってみること」の2つです。ぜひお勉強でも使って聞いたことを覚えておく力を付けていてください。

今日は「聴く」名人への道その2「聞いたことを覚えておく」というお話をしました。ぜひ、教室でお勉強をするときにも練習を続け「聴く」名人を目指してください。そして、お友達に自分の言ったことを「覚えていない」と言われて悲しかった時は、まだ聞いて覚える力を鍛えている途中の人なんだと校長先生の話をお話思い出してください。

「聴くこと」は、本校で行っている「学び合い」を行う上でも非常に大切な力です。子供自身は聞いていると思っていても、実はきちんと聞き取れていないということが時折見られます。また、子供たちは自分の聞こえ方や感じ方が普通で、他の人も同じように感じていると思っています。聞こえ方も感じ方も一人一人違うことに気付くことで、自分と相手の違いを受け入れ学び合いを充実させ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

学校だよりでは紹介しきれなかった校内の様子をご紹介します。



6年生による運動会準備の様子です。暑い中、時間いっぱい頑張る姿が見られとても頼もしく感じました。

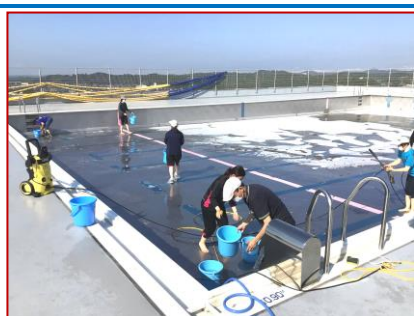
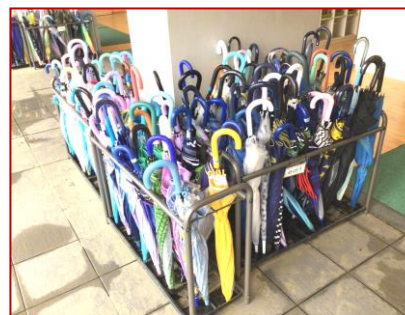
運動会後の片付けも率先して行い、明石台小学校の屋台骨を支えています。



様々な形で命を守るための訓練を行っています。左は、休み時間の地震を想定し、遊んでいる途中でもしゃがんで放送による指示を静かに聞く訓練の様子です。また、防火扉が閉じて通れないことを想定しての訓練も行っています。



この学校ですばらしいと感じていることの一つに、傘や靴の入れ方が丁寧で上手なことがあります。雨の日でも整然と傘がしまわれています。ご家庭でもきちんとご指導いただいているのだと思います。ありがとうございます。



最後に職員の様子も紹介します。運動会に向けてのサッカーゴールの移動や大小2つのプール清掃等は、子供たちの下校後に行っています。子供たちのためにと頑張っています。



家庭訪問では、保護者の皆様にお時間を取っていただきありがとうございました。夏休みに入った7月25日(月)26日(火)の午前中には希望制の教育相談も予定しています。近くなりましたらご案内を差し上げますので、相談がある方はぜひこちらをご利用ください。